IoTデバイス活用マニュアル

センサ種類:温湿度センサー

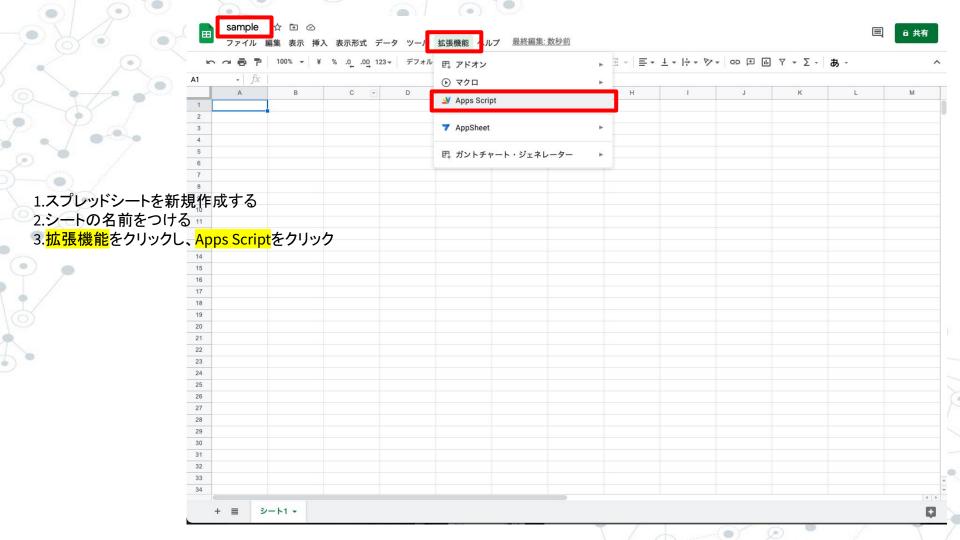
型番: Grove SHT31 / 35

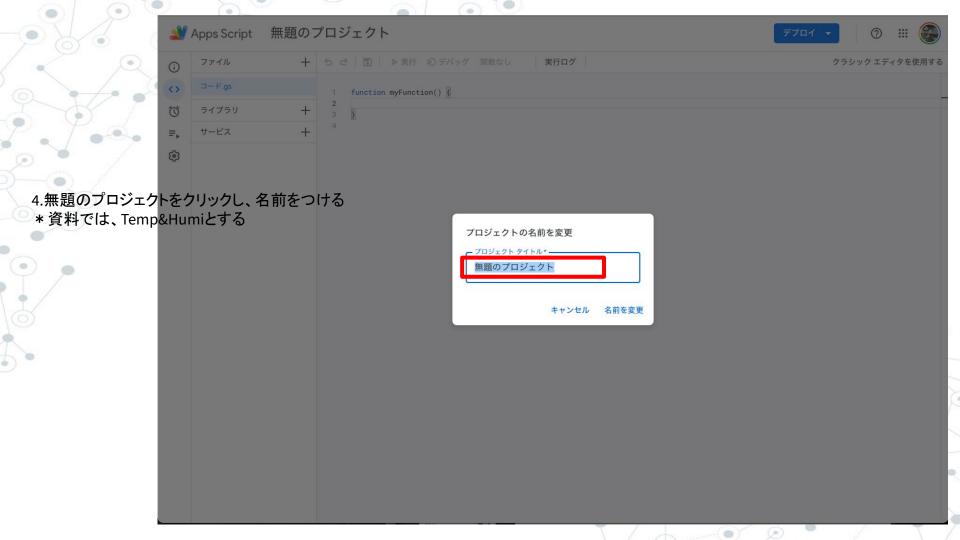
ストーリー: 温湿度の値をGoogleSpreadシートへ記載する

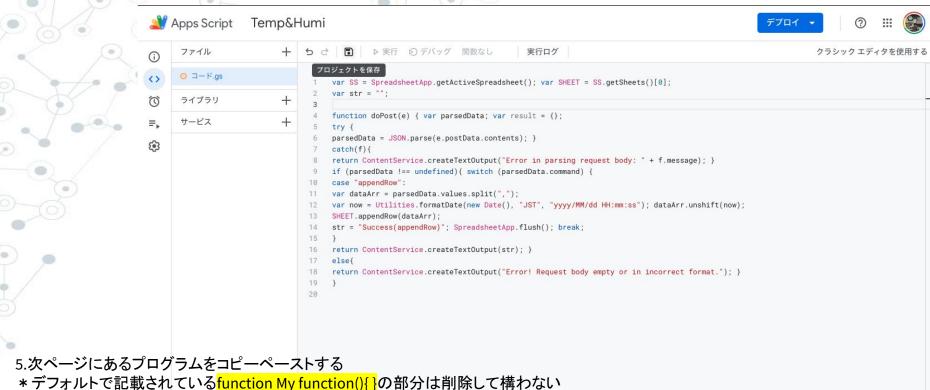


GoogleSpreadシートの準備

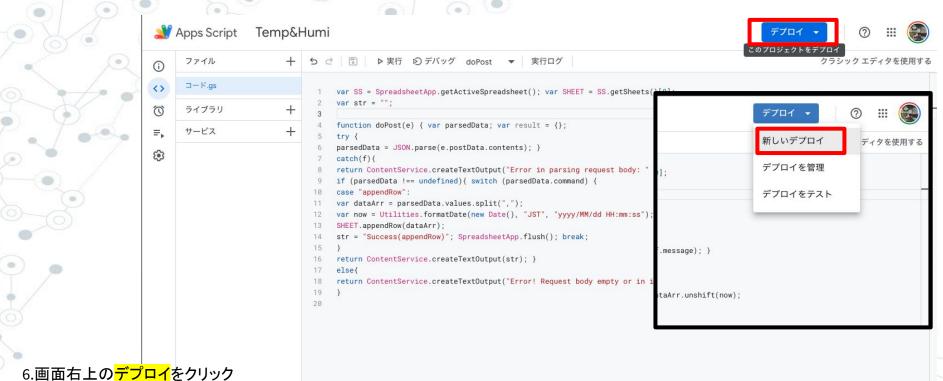
- ・組織アカウントでの使用は情シスに要確認
- ・データ記載専用のアカウントを準備することをおすすめします。



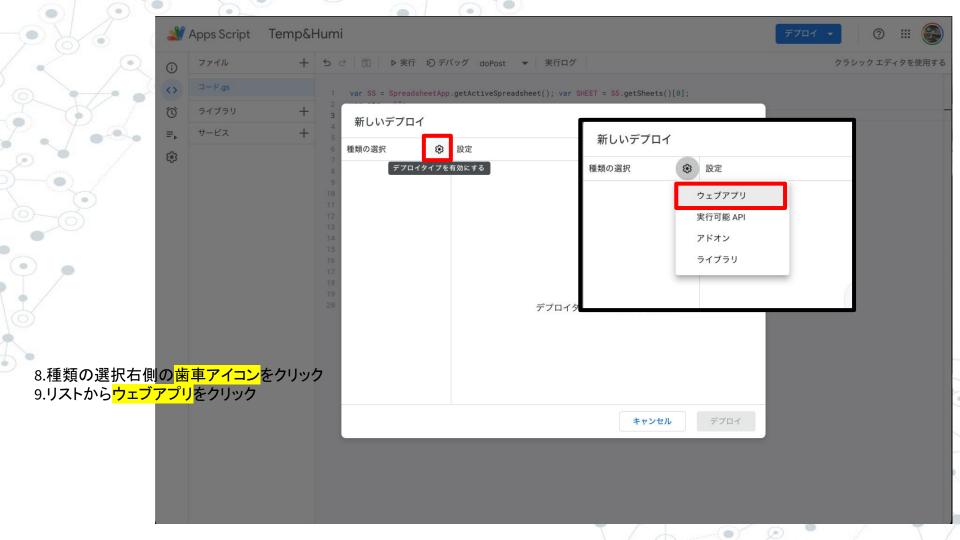


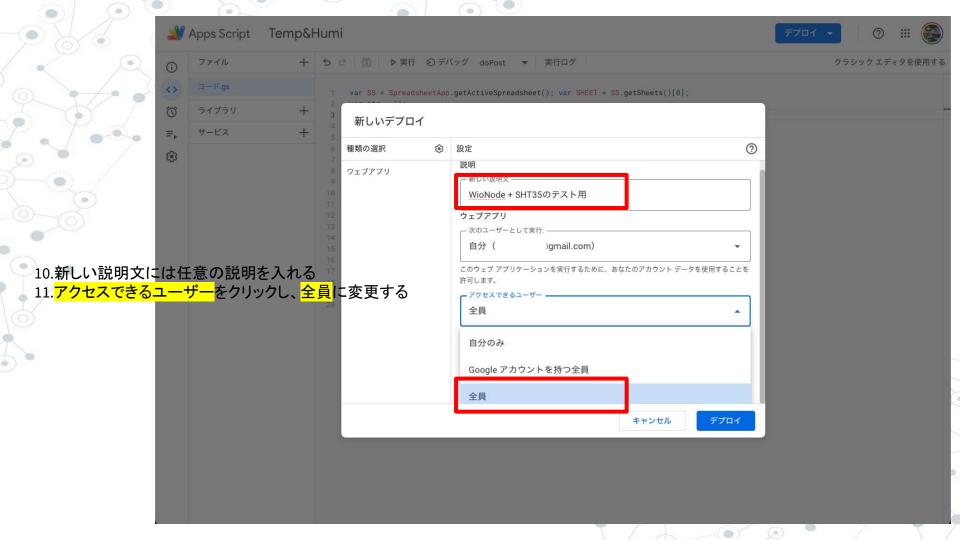


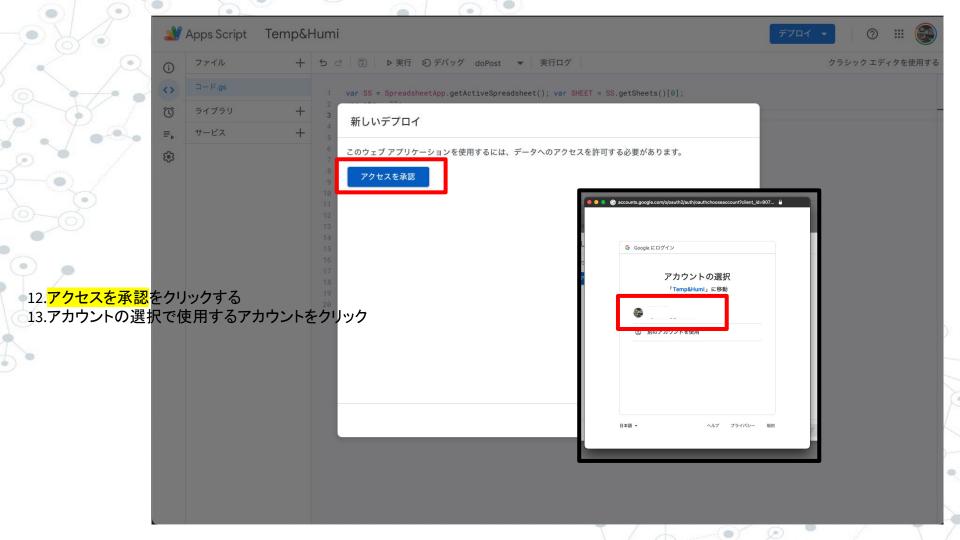
```
var SS = SpreadsheetApp.getActiveSpreadsheet(); var SHEET = SS.getSheets()[0];
var str = "";
function doPost(e) { var parsedData; var result = {};
try {
parsedData = JSON.parse(e.postData.contents); }
catch(f){
return ContentService.createTextOutput("Error in parsing request body: " + f.message); }
if (parsedData !== undefined){ switch (parsedData.command) {
case "appendRow":
var dataArr = parsedData.values.split(",");
var now = Utilities.formatDate(new Date(), "JST", "yyyy/MM/dd HH:mm:ss"); dataArr.unshift(now);
SHEET.appendRow(dataArr);
str = "Success(appendRow)"; SpreadsheetApp.flush(); break;
return ContentService.createTextOutput(str); }
else{
return ContentService.createTextOutput("Error! Request body empty or in incorrect format."); }
```

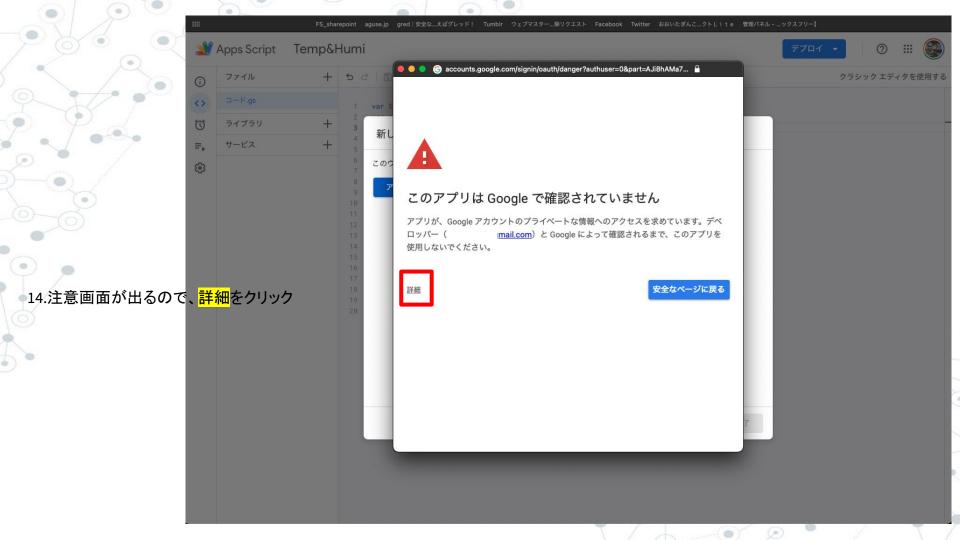


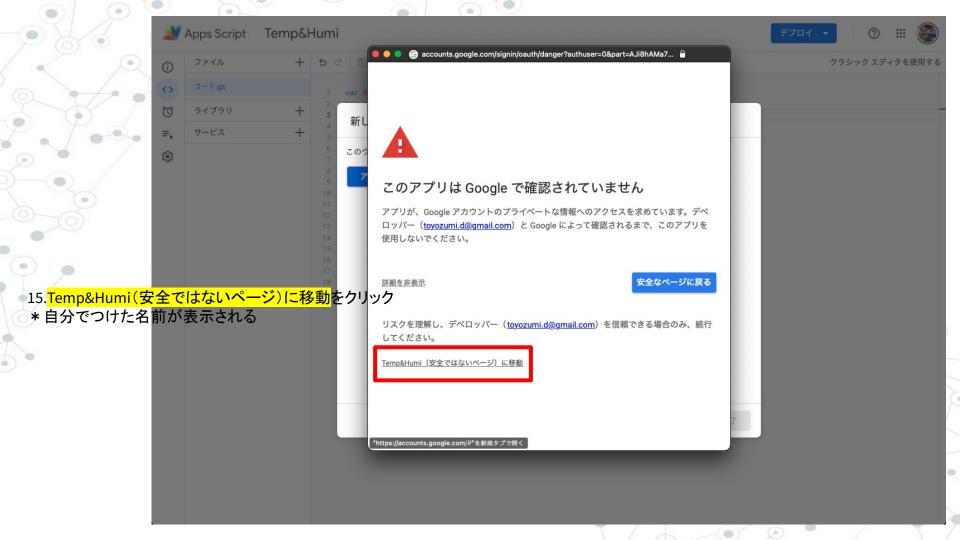
7.出てきたリストの中から新しいデプロイをクリック

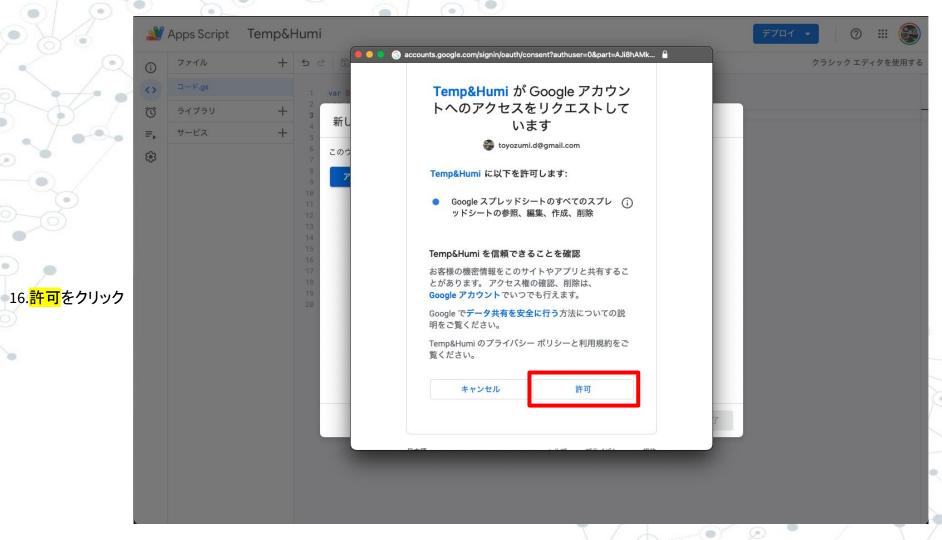


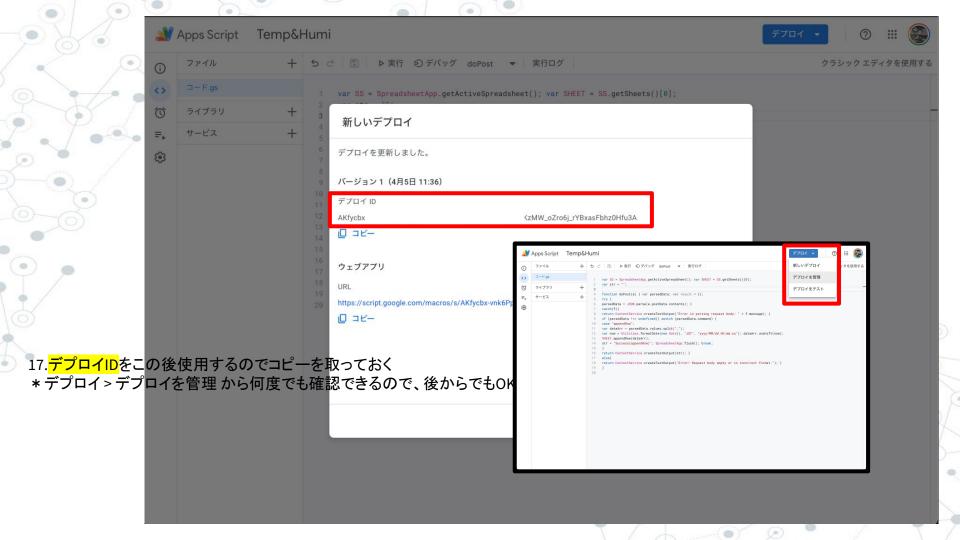


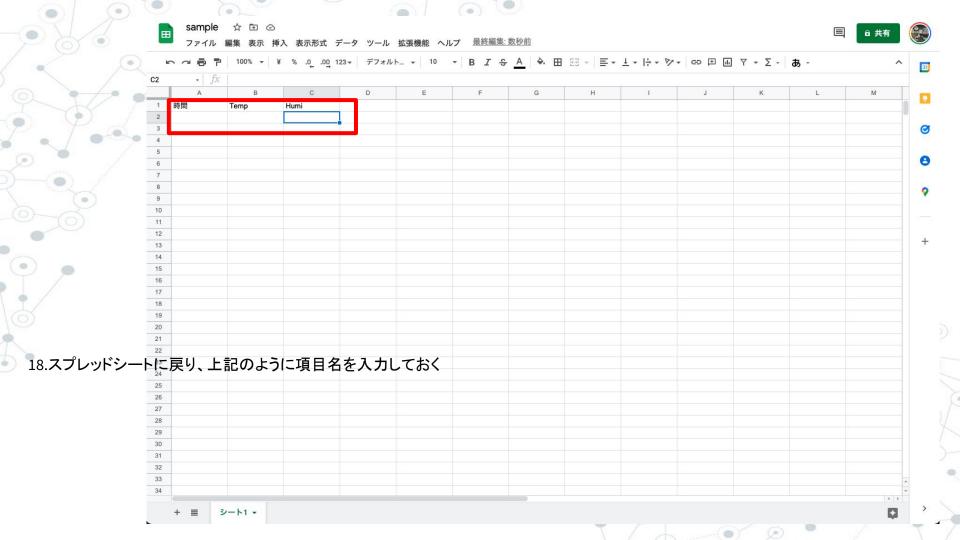












2. Arduino IDEの設定

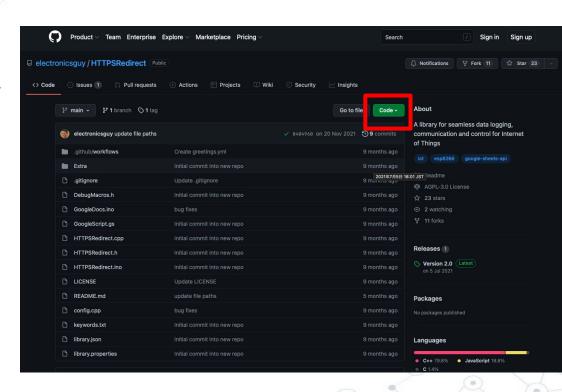
- ・HTTPSredirect.hのインストール
- ・esp8266ボードマネージャの更新

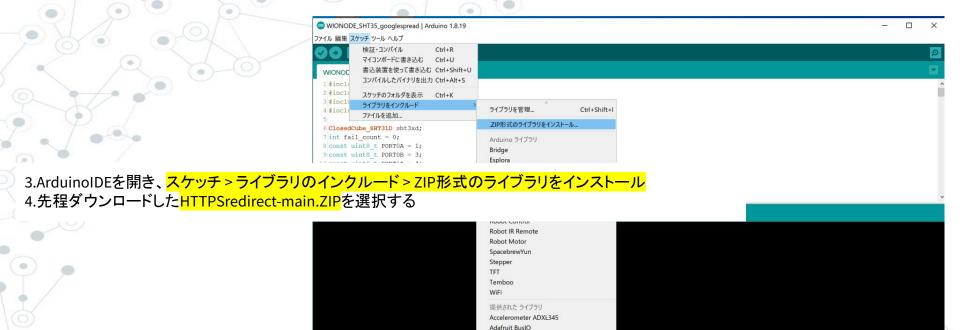
HTTPSredirect.hのインストール

1.下記リンクからgithubを開く

https://github.com/electronicsguy/HTTPSRedirect

2.code▼をクリックし、Download ZIPをクリック





ArduinoOTA AzureloTHub ClosedCube SHT31D DNSServer DallasTemperature EEPROM ESP8266 ESP8266AVRISP ESP8266HTTPClient ESP8266HTTPUpdateServer ESP8266LLMNR ESP8266NetBIOS ESP8266SSDP ESP8266SdFat ESP8266WebServer ESP8266WiFi ESP8266WiFiMesh ESP8266httpUpdate

HTTPSRedirect-mainの検索

5.PC > Arduino > libraries > HTTPSRedirect-mainフォルダ内のconfig.cppを削除する

フォルダ階層については	、各自の設定箇所を参照し	してくださし
-------------	--------------	--------



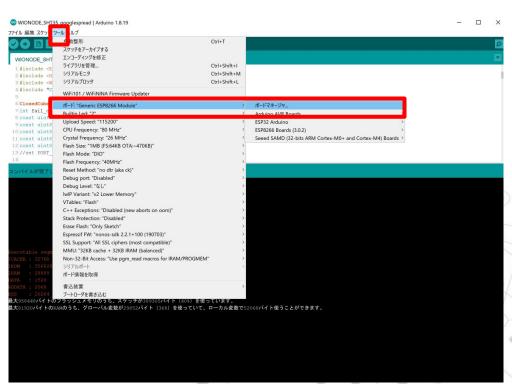
名前	更新日時	種類	サイズ
Extra	2022/04/06 13:27	ファイル フォルダー	
GoogleDocs.ino	2022/04/06 13:27	Arduino file	7 KB
MTTPSRedirect.ino	2022/04/06 13:27	Arduino file	1 KB
config.cpp	2022/04/06 13:59	CPP ファイル	1 KB
HTTPSRedirect.cpp	2022/04/06 13:27	CPP ファイル	13 KB
GoogleScript.gs	種類: CPP ファイル サイズ: 401 バイト 5 13:27	GS ファイル	6 KB
DebugMacros.h	更新日時: 2022/04/06 13:59 6 13:27	H ファイル	1 KB
HTTPSRedirect.h	2022/04/06 13:27	7 H ファイル	3 KB
library.json	2022/04/06 13:27	JSON ファイル	1 KB
README.md	2022/04/06 13:27	MD ファイル	18 KB
library.properties	2022/04/06 13:27	PROPERTIES ファイル	1 KB
keywords.txt	2022/04/06 13:27	テキスト ドキュメント	1 KB
IICENSE	2022/04/06 13:27	ファイル	34 KB



ESP8266ボードマネージャーの更新

- ・講座で使用していた2.3.0というバージョンではスプレッドシートへ接続できません
- * Azure lot Hubへのライブラリは2.3.0でしか動きませんので、ご注意ください。

-1.Arduino IDEの<mark>ツール > ボード > ボードマネージャー</mark>をクリック





8バイトのフラッシュメモリのうち、スケッチが389305バイト(40%)を使っています。 バイトのRAMのうち、グローバル変数が29852パイト(36%)を使っていて、ローカル変数で52068バイト使うことができます。

2.検索窓にesp8266と入力

4.終了したら閉じる

3. Arduino スケッチの設定

- ・WiFiのSSID / PASSの書き込み
- GoogleのIDの書き込み

```
1.下記に保存しているスケッチを開く
2.スケッチの24行目から29行目の部分を書き換える
SSID / PASS / Google ID
```

3.SHT31の場合はコメントアウト部分の設定を入れ替えること!

注意1.""の中に書き込むこと

```
// wifi設定
                                                       const char* ssid = "SSID";
                                                       const char* password = "PASS";
                                                        //Googleスプレッドシートの設定
                                                       const char *GScriptId = "Google ID";
                                                       const char* host = "script.google.com";
                                                        const int httpsPort = 443;
                                                       String url = String("/macros/s/") + GScriptId + "/exec";
                                                       const String payload base = "{\"command\": \"appendRow\", \
                                                                          \"sheet name\": \"Sheet1\", \
                                                                          \"values\": ";
                                                       String payload = "";
                                                       HTTPSRedirect* client = nullptr;
注意2.GoogleIDは、スプレッドシートのデプロイの際に出てきたモノ
```



- 4.Wio Nodeへ書き込みを行う
- * FUNC ボタン押しながら、RSTで書き込みモードにするのを忘れない
- 5.スプレッドシートへ書き込まれているか確認



mp_test ☆ 🗈 👁

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

□ □ 100% ▼ ¥ % .0 .00 123 ▼ デフォルト... ▼ 10 ▼ B

→ fx | 時間

	A	В	С
1	時間	temp	humi
2	2022/04/03 16:48:12	15.47	44.62
3	2022/04/03 16:48:26	15.48	44.77
4	2022/04/03 16:48:40	15.5	45.13
5	2022/04/03 16:48:54	15.5	45.01
6	2022/04/03 16:49:08	15.57	45
7	2022/04/03 16:49:22	15.47	44.97
8	2022/04/03 16:49:38	15.53	44.9
9	2022/04/03 16:49:52	15.61	43.86
10	2022/04/03 16:50:06	15.51	41.94
11	2022/04/03 16:50:19	15.89	43.09
12	2022/04/03 17:29:54	18.18	39.22
13	2022/04/03 17:30:08	18.12	39.1
14	2022/04/03 17:30:23	18.2	39.21
15	2022/04/03 17:30:37	18.2	39.21
16	2022/04/03 17:30:51	18.25	38.83
17	2022/04/03 17:31:05	18.26	38.83
18	2022/04/03 17:31:19	18.25	39.06
19	2022/04/03 17:31:33	18.23	39.07
20	2022/04/03 17:31:47	18.37	38.99
21	2022/04/03 17:32:01	18.3	38.93
22	2022/04/03 17:32:16	18.33	39.28
23	2022/04/03 17:32:30	18.25	39.02
24	2022/04/03 17:32:44	18.19	39
25	2022/04/03 17:32:58	18.22	38.94
26	2022/04/03 17:33:12	18.32	39
27	2022/04/03 17:33:26	18.28	39.2
28	2022/04/03 17:33:40	18.29	38.82
29	2022/04/03 17:33:54	18.25	38.74
30	2022/04/03 17:34:09	18.2	38.88
31	2022/04/03 17:34:23	18.22	39.07
32	2022/04/03 17:34:37	18.29	38.67
33	2022/04/03 17:34:52	18.28	38.49





最大保存数について

Google スプレッドシートは最大<mark>1000万セル</mark>までとなっています。(2022/03現在)

データ数がサンプルのように3列(A-C列)の場合は、D列以降を削除することで最大3,333,333行書き込めます。

ただし、行が増えれば増えるほどブラウザが重くなる&表示に時間がかかるので、

|適宜別にコピーするなり、スプレッドシートを再発行するなりしてあげるほうが良いかもしれません。

タイムラグについて

スプレッドシートへの接続と保存のラグがあるようで、

10秒サイクルで送信していても受信時間は10秒サイクルとはなりませんのでご注意ください。

config.cppの削除について

今回はArduinoのスケッチの中でSSID/PASS/GoogleIDを記載しているため、削除しています。

* 残していると重複しているというエラーが返ります。

スケッチのSSID / PASS / GoogleID箇所を削除し、config.cppへ書き込むことでも動作するはずですので、興味があれば試してみてください。

DeepSleepあり・なし

Arduinoのスケッチを2種類準備しています。

無印:4回以上Googleへ接続エラーをした場合は、WioNodeをスリープ状態にする

nondeepsleep:エラーが何度起きてもWioNode自体は稼働し続ける

Googleアカウントが漏れてしまえば計測値も全て漏れる可能性

インターネット上のサービスに関してはすべて言えることですが、管理を間違えると外に全て見えてしまうということが起きてしまいます。スプレッドシートの公開範囲や編集権限等くれぐれも気をつけてください。

各自、自己責任・自己管理でのご利用をお願いします。